

平成25年度 学校自己評価と関係者評価等

兵庫県立宝塚高等学校

領域	評価の観点	自己評価（成果・課題等）	関係者評価
学校運営	信頼され地域とともに生きる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や近隣の学校、関係機関との連携は昨年度以上に活発に行うことができた。</li> <li>・様々なご意見に対して、地域の信頼を失うことのないように学校として迅速対応に心がけた。</li> </ul>	地域への発信を今以上にしていく必要がある。
	心の通い合う生徒指導＝心の通い合う明るい学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の面談等を通じて心の通い合う生徒指導ができています。</li> <li>・平常の学校生活に加え、放課後や朝の補習、部活などで生徒との関わりが増えた。</li> <li>・学校カウンセリングにおいては、ほとんど毎週月曜日に実施することができた。</li> </ul>	生徒たちには、何事においてもさらに積極的に取り組んでほしい。
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見据えた進路計画や総合的な学習の時間の活用など、改善を要する課題を解決していく。</li> <li>・生徒との面接等を通じて、進路の相談に十分な対応ができた。</li> <li>・キャリア教育さらに充実させたい。1年次の総合的な学習の時間における取り組みを充実させる。</li> </ul>	グローバルな視点で学力の向上を図ってほしい。語学力は、今後も鍵を握るのではないかな。
	教職員の資質の向上と実践的指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の研究会に参加するなど、自身の指導技術の向上を図った。</li> <li>・公開授業週間を取り入れて教員の指導力の向上を図った。</li> <li>・校内職員研修会を計画的に実施するなど、教職員の資質や能力を高めることができた。</li> </ul>	保護者や中学校の教職員への公開授業は良いが、もっと広報するべきである。
	事前の安全対策と危機管理体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災や災害対策計画については、マニュアル化され、教職員には周知徹底できている。</li> <li>・教室や体育館、グラウンド等の施設整備を適宜行い、学習環境を整えることができた。</li> </ul>	生徒への安全対策や危機管理をさらにお願したい。
	学校運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室との連携を密にし、円滑な校務運営を心がける。</li> <li>・新規に委員会を設置するなど、目的を具体化の中で活発に協議することができた。</li> <li>・平成27年度から新しい特色類型（ヒューマンサイエンス類型）で募集する。学校の特色づくりをさらに進める。</li> </ul>	
	育友会活動との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育友会との連携を密にできた。特に、行事を通じた連携強化が良かった。</li> <li>・公開授業週間に保護者の参加が少なかったが、今後、多数参加していただけるよう広報活動等強化する。</li> </ul>	子供からの連絡が保護者まで伝わらないことがある。特に緊急時の対策を望む。
教育課程	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上をさらに図るため、補習や校外テスト対策なども十分行うことができた。</li> <li>・1・2年生全員、定期考査一週間前の土曜日には土曜学習会に参加し学習の機会を十分に与えた。</li> </ul>	理系、文系を問わず英語力が、進学、就職などに好影響を与える。英語力の向上を期待する。
	各教科の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数、習熟などの指導内容をさらに充実させる必要がある。</li> <li>・教科での研修会や研究会を積極的に行い、さらなる授業改善を図ることを目指す。</li> </ul>	
	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の総合的な学習の時間は、さらに教科横断的な内容などを加え、充実させていく必要がある。</li> <li>・1年生の総合的な学習に時間は、将来の進路を見据えたキャリア教育をさらに充実させたい。</li> </ul>	
	個に応じた学習指導の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導、習熟度別指導などを行っている。教科の特性に鑑みて、その効果を十分検証する必要がある。</li> <li>・生徒のニーズに合わせて、様々なプリントを作成し、授業や補習で使用した。</li> </ul>	補習や個別指導など、力を入れていただいている。さらなる指導を期待する。
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技大会やカルタ大会など運動や文化活動を行った。さらに充実させたい。</li> </ul>	見ごたえのある行事がたくさんある。
課題教育	人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権講演会など人権HRの充実を図ることができた。毎年テーマ別に、幅広く人権課題を扱っている。</li> </ul>	
	環境・福祉教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会等の一部の生徒のみならず、全生徒が関わることができるようさらに内容を検討していく必要がある。</li> <li>・地域への発信度をもっと増やしていく必要がある。</li> </ul>	地域への発信を。駅の清掃活動などもある。
	学校の特色化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色選抜の類型について、来年度からの新類型も踏まえて、広報する方法を検討する。</li> <li>・これまでの探究類型（人間科学類型・自然科学類型）の授業は、特色ある学校設定科目を実践できたと思う。</li> <li>・キャリア教育の更なる充実に向け、特色化を図っていく。</li> </ul>	特色をもっと明確にして発信してほしい。

